

おはなし会 祝・結成30周年

子どもと本をつなぐ



▲こどもおはなし会の様子



▲お話に入りこむ



▲手遊びを楽しむ

7月に結成30周年を迎えたボランティア団体「田原本おはなし会」。子どもたちが自ら本を手にとってくれるための架け橋となるために、日々活動を続けています。
今月の特集は「地域」「行政」「家庭」それぞれから、子どもと本をつなぐ役割を考えます。

図 図書館 ☎ 32・0262

語りと絵本でお話の世界へ

図書館おはなしのへやで毎月行われている「子どもおはなし会」。田原本おはなし会ボランティアが、ろうそくに火をともし、おはなし会が始まりました。最初は部屋を暗くして素話（絵本など何も用いずお話をすること）が行われました。子どもたちは、素話に夢中で聞き入り、お話の世界に入り込んでいました。続いて、絵本を使っての読み聞かせが行われました。おはなし会の合間には、手遊びをして、次のお話に集中します。最後は、大型絵本の読み聞かせが行われ、知っているお話になると声を出して楽しんでいました。お話が終わると、図書館の職員による本の紹介が行われました。興味がある本は借りて帰ることができず。人気の本は何人も子どもたちが手をあげていました。
おはなし会の最後は、今月が誕生日の子どもたちがろうそくの火を消しておはなし会が終了しました。



▲ろうそくに火がともりおはなし会が始まる



▲絵本なしの語りを部屋を暗くして聞くストーリーテリング

利用者の声

新しい本と出会える貴重な時間

おはなし会によく参加します。おはなし会は、読み聞かせ以外に手遊びなども教えてもらえ、家でもやってくれます。おはなし会に参加すると、新しい本との出会いがあります。おはなし会の最後に図書館司書の人から本を勧めてもらえます。家で本を読んであげる時間がなかなかとれない分、おはなし会で読み聞かせをしてもらえるのは助かります。



南 友子さん



Interview

本を通じて子どもとふれあう時間を大切に

町立図書館長や小・中学校の校長を勤められた藤井フミ子さんに、読書の効果や重要性などをお伺いしました。

たくさんの方がそろって図書館

田原本町の図書館には、子どもたちに読んでほしいたくさんさんの良い蔵書があります。検索システムも充実していますし、どんな本も読んであげたらよいか迷う時は、気軽に図書館スタッフに相談できます。

幼少期は本を通して家族とふれあう時間が大切

幼少期の家族との本を通してのふれあいは、人間の一番の根幹に残るものです。上手に読むことよりも、身近な人が読んであげることが重要で、本の思い出は同時に読んでもらった人との思い出として残ります。

小学3・4年生には

感動できる物語を

小学3・4年生は、エンターテ



藤井フミ子さん
(全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー)

イメントの壁と言われ、本の楽しさは言葉の力と結びつくと言われています。本をよく読んでいる子は言葉が豊富で、考える力やイメージする力、相手を思いやる気持ちで育ちます。物語を読むことで、その時の主人公の気持ちに共感するから面白く、心が耕かされる言葉が育ちます。小学3・4年生の時には感動できる物語をたくさん読んであげてほしいです。

子どもに本を読んであげる時間の工夫を

子どもは自分に向き合ってくれる時間を求めます。同じ本を何回も読んでもらいたがります。子どもは自分だけの時間を求めています。同じ本でも何度も読んであげ、子どもとふれあう時間を少しでも作ってほしいですね。

田原本おはなし会

結成 30 周年を迎えた「田原本おはなし会」に、入ろうと思ったきっかけや、印象に残ったことなどをお伺いしました。



川口敬子さん
(加入年数 30 年)

真田淳子さん
(加入年数 20 年)

宮内富子さん
(加入年数 3 年)

森田美代子さん
(加入年数 13 年)

竹本和佐子さん
(加入年数 10 年)

田原本おはなし会とは

平成元年に図書館の呼びかけでスタートしました。現在会員は 17 人。主な活動は、図書館でのおはなし会です。その他にも、町内保育園・幼稚園でのおはなし配達、えほんのへや、町内小学校での朝の読書タイム・授業時間の参加をしています。(左上参照)

今年で 30 周年を迎え、その間に地域への読書推進活動が評価され、田原本町長表彰(平成 15 年)、文部大臣賞(平成 21 年)、厚生労働大臣賞(平成 26 年)などを受賞。町や伊藤忠財団からの助成金で約 500 冊の本を購入し、町内すべての小学 2・3 年生に本を巡回させています。



▲田原本おはなし会の皆さん

入ろうと思ったきっかけ

真田さん 立ち上げのときに図書館に貼ってあったおはなし会の募集のポスターを見ていました。しかし、そのときは子どもが生まれたばかりで入ることができませんでした。子どもが小学校に入ってしまったから、おはなし会の人に出会い入りました。

宮内さん 音訳ボランティアの講習会に参加して、図書館からのアンケートでおはなし会に興味があると記入しました。その後、おはなし会の人から優しく声をかけてもらいました。楽しいメンバーに巡り合え、入ってよかったです。

森田さん もともと小学校で先生をしており、自分の学級の子もたちに本の読み聞かせをしていました。学校で読書クラブを担当していたとき、おはなし会の人に来てくださって素話を聞かせてもらい感動しました。退職後、しばらくしてからおはなし会の人から声をかけてもらい入りました。

竹本さん 素話の講習会を受講したときに、こんな世界があるのだと感動しました。その後、おはなし会の人から「見学に来てください」と声をかけてもらい楽しそうに活動されているのを見て入りました。

図書館以外での主な活動



◀ 1対1の読み聞かせ。順番待ちをしている子どもも一緒にお話を聞いています。(えほんのへや)



▶ 小学校でのおはなし会。お話に聞き入っています。

町内の小学生から

おはなし会へ寄せられたメッセージ

- 本を読むのが苦手だったけど、おはなし会さんのおかげで本が好きになりました。
- 毎月1回のおはなし会をととても楽しみにしています。
- おはなし会の人たちが来てくれたことで、いろいろな本に出会うことができました。



◀ 小学2・3年生の全学級に巡回文庫を実施。教室に本を置くことで、いつでも手に取って読むことができます。



▲ 第1回おはなし会

印象に残っていること

川口さん 立ち上げ当時は特に参加者が多く、80人くらいの前でおはなし会をしたことです。今後多くの人に参加してもらいたいです。

宮内さん 保育園に行ったときに、小さい子なので、大型の本や子どもが楽しめるような本を考えて行きましたが、結果的に素話が一番喜ばれました。素話が思ったより伝わったことに驚きました。子どもたちによって反応が違うのも楽しいです。

竹本さん 最近の子どもたちにはアニメや漫画、ゲームなど、刺激のあるものがいっぱいあると思います。それでもおはなし会などで日本の昔話などをすると、声に出して「おもしろい」と言ってくれます。おはなしの力、一見地味そうに見えるものをおもしろいと言ってくれた時の感

動が印象に残っています。子どもの感性の素晴らしさを感じます。

今後のおはなし会について

川口さん 素話は一番大切にしていきたいです。子どもたちに楽しんでもらえる催しを考えていきたいです。

真田さん 人の声が直接相手に響くのは、何にもかえがたいです。子どもたちは、本を読んでもらうことは楽しみますが、自分で本を選ぶことは難しいです。だから、本と子どもを結びつける人が必要でこれからも子どもと本をつなぐつなぎ手でありたいです。

森田さん 私が好きな絵本やお話を届けていきたいです。子どもたちが物語の中に入り込んで自分も一緒に体験した気持ちになる、そういう時間を作ってあげたいです。

竹本さん 入った時は何もできなかったですが、先輩方に優しく教えてもらえました。家庭以外にも居心地のいい場所ができました。最初からハードルをあげないで気楽な気持ちでのぞきにきてもらいたいです。

おはなし会からメッセージ

子どもと本を結ぶつなぎ手になって、楽しい活動を続けていく仲間がぜひ増えてほしいです。関心のある人は、気軽に声をかけてください。

親子で楽しめる布絵本や展示が充実！

本の魅力に出会える図書館



①布絵本を作成しています

布絵本ボランティアに布絵本を作成してもらっています。布絵本は、字が読めなくても触って楽しめる本です。(貸出はできません)



②マルチメディア デージー図書

パソコンで読むことができる本です。文字を認識しづらい子どもも読書が楽しめます。



③子どもたちの作品を展示



毎月、壁面展示を変えています。町内幼稚園の子どもたちの作品や塗り絵が飾られています。

町立図書館、小・中学校、幼稚園、保育園では読書活動の推進に取り組んでいます。中でも図書館は、誰でも訪問することができ、本との新たな出会いがあります。夏休み期間中に涼しい図書館へぜひお越しください。

図書館や教育機関でつなぐ



▲4ヵ月児健診で絵本の紹介を行い、1人ずつ絵本を手渡す。(ブックスタート事業)

図書館や小・中学校、幼稚園、保育園では、さまざまな形で子どもの読書に関する事業をしています。図書館では、おはなし会のほかに、わらべうた教室やブックスタート事業への講師派遣、また、おすすめ本の展示・リスト配布など、子どもに関する活動を展開しています。また、季節ごとにさまざまな催しを行い、夏休みには子ども1日図書館員、春と秋の読書週間にも読書が



▲小学校の図書室での本の貸し出し。大勢の子どもたちが本を借りに訪れる。

楽しくなるイベントを行っています。小・中学校や幼稚園・保育園では、朝読書や読み聞かせ・学校図書館の開放を行い、継続的に読書を楽しむ機会を設けています。また、町内の教育施設の関係者が一同に集まり、子どもの読書活動について意見交換を行う「田原本町子ども読書活動推進協議会」を年2回行い、連携しながら、子どもの読書推進に努めています。

学校の声

本は心の栄養に

朝の読書タイムに教室を見て回ると、子どもたちが静かに一生懸命本を読んでいます。自分の好きな本を選んで、夢中で読書をしている姿は、まるで心に栄養をとり入れているかのようにも見えます。

読書は、国語力を構成している「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」などを育てる上で中核となるものです。読書の習慣を身につけることは、国語力を向上させるだけでなく、一生の財産としての「生きる力」にもなるのです。

学校では、町立図書館と連携しながら、学校図書館を有効に活用し「自ら本に手を伸ばす子ども」を育てようとしています。

未来を生きる子どもたちが、目の前の問題を解決し、力強く歩んでいけるようにするためには、たくさんの「本」と「人」に出会う必要があります。これからも、読書を通していろいろな出会いをし、自分でものを考え、豊かな心を育ててほしいと思います。



田原本小学校
橋本宗和校長

4 子育て雑誌が充実

子育て中のパパのための雑誌もあります。



職員の声



図書館では、読む楽しみや調べる面白さを知ってもらうために、さまざまな取り組みをしています。本を探すお手伝いもしていますので、いつでもお気軽に声をかけてください。

「親子読書」を始めませんか



読書手帳を活用しましょう



4ヵ月児健診のブックスタートの時に読書手帳をお渡ししています（図書館でも配布しています）。読み始めた日や本の名前を記入することができます。

親子のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合うひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

「親子読書」は子どもにとってもうれしい時間の一つです。ぜひ始めてみませんか。

小学校低学年くらいまでは…

子どもたちに読書の楽しさを伝えるためには、「読み聞かせ」がよいと言われていきます。絵本や物語はもちろん、昔話、などなど、ことばあそびの本など、多くのジャンルから本を選び、子どもの世界を広げてあげましょう。



▲図書館内に新しく入った本の紹介コーナーを設けています。

小学校中学年以上になったら…

読み物や物語の楽しさを味わったり、科学や社会の本への興味を深めたりするとよいと言われています。優しさや思いやりなどの豊かな心や、知る楽しさなどの知的な好奇心が育ってゆくでしょう。

また、周りの大人が読書を楽しむ姿を見せることも大切です。子どもと一緒に図書館や書店に行き、本を選んだりする姿を見せてあげてください。家族みんなで読書を楽しむ時間をもてるといいですね。



▲図書館ホームページ

イベント情報

おしゃべりOK！「気軽に図書館へきていいDAY」

当日は、図書館の中でおしゃべりしてもOK！大きな声で絵本を読んでもOK！涼しい館内でのんびり過ごしませんか。

静かな図書館が苦手な人、小さい子がいるので図書館へ行きにくいと感じている人、どうぞお気軽に図書館へお越しください。

※インターネット・DVDなどの館内利用はできません。

日時 8月10日(金)午前9時30分～午後0時30分

録音図書製作ボランティア養成講座

図書館では、ボランティアの方々が見力に障害のある人への支援として、本などの活字を音声にして伝える対面朗読や町広報紙の音訳CDの製作を行っています。

家事や仕事の合間に、音訳ボランティアを始めてみませんか。今回は「音訳とはなんだろう？」から実践的テクニックまでをわかりやすく指導していただきます。

●初級講座 (全6回)

日程 9月1日・8日・29日、10月13日・20日、11月10日いずれも土曜日午前10時～11時30分

対象 初めて音訳をする人

講師 武谷亮子さん
(天理教点字文庫)

●中級講座 (全6回)

日程 12月1日・8日・15日、平成31年1月5日・12日・19日いずれも土曜日午前10時～11時30分

対象 音訳活動経験者

講師 西和田恵子さん
(天理教点字文庫)

場所 図書館 会議室

定員 各級30人(申込順)

問・申込 図書館 ☎ 32-0262

今月の新刊

きら 煌めくハーバリウム

ハーバリウム普及推進委員会著／日本文芸社

好きな花材とカラーで、キラキラ煌めくハーバリウムを作ってみませんか。ハーバリウムの基本と、花・葉・実・果物などを使った作品の作り方を解説します。



がいなもん 松浦武四郎一代

河合和香著／小学館

蝦夷地を6回にわたって踏破し、多数のアイヌの地名を記録。吉田松陰からの蝦夷地アドバイザーを務め、古希記念に富士登山！傑物にして奇人、“北海道の名付け親”松浦武四郎の生涯を描く。



燃える水

河合莞爾著／角川書店

中小電機メーカーの社員・曾根が自宅で謎の感電死を遂げた。「水が燃えた」という謎の言葉を残して。人事課長・平原は、3人のリストラ候補者と曾根との奇妙な関連性に気づき…。



8月

○は休み

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間

土曜日以外 午前9時30分～午後5時
土曜日 午前9時30分～午後7時
問い合わせ ☎ 32-0262

子どもおはなし会

図書館の職員とボランティアによる楽しいお話がいっぱいです。

日時	対象
8月4日(土) 午後2時～2時30分	4歳以上
8月11日(土) 午後2時～2時20分	3～4歳
8月18日(土) 午後2時～2時30分	4歳以上
9月1日(土) 午後2時～2時30分	4歳以上

場所 おはなしのへや(申込不要)

図書館ホームページを休止します

システムメンテナンスのため、次の日は図書館のホームページが利用できません。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

ホームページ休止日

8月27日(月)終日

おはなし会 30周年記念行事

10月のおはなし会(10月6日・13日・20日)は、おはなし会から記念プレゼントを用意してお待ちしています！

●10月上旬～ パネル展「おはなし会30周年の歩み」

●10月20日(土) 拡大おはなし会

いつものおはなし会を延長して楽しいお話をします。

●11月24日(土) 大人のためのおはなし会

素話(ストーリーテリング)の世界を楽しみましょう！

詳しくは
広報10月号で
掲載します。